

秋田県

大晦日・男鹿のナマハゲ

あの国指定重要無形民俗文化財

体験ツアーアー

男鹿市菅江真澄研究会
首都圏ふるさと支部共催

第4回呼びかけ

え(行)ぐべえ!
体験するべえ、冬の本物。

大晦日・あの雪の中、しんしんと……。今年も企画したし第4回目。
秋田男鹿のナマハゲ。大晦日の本物体験だす。

「泣く子はいねいが——、親の言うこと聞かね子はいねいが——、こ
この家の嫁は早起きするが——」と男鹿のナマハゲは各集落を一
軒ずつ巡るす。

男鹿の人だば、ナマハゲは怠け心戒め、無病息災、田畠、海・山の幸
をもたらす来訪神だす。来てみねえすかあ、本物の男鹿のナマハゲ。

はじめての人、秋田に来たことない人、たまに昔を思い出しふるさ
と帰る人……。なんとか今度の正月は男鹿で迎えてけれ!待ってる
す。みんなしてえ(行)ぐべえ。おもしれでお!あったまるどお!うめ
えしよ!湯っこもええどお!来てけれ!待ってるす。

冬の本物、なまはげ体験ツアーが3泊4日(車中二泊)交通、宿
泊、食事、オール込み **45000円!**

国の重要無形民俗文化財を現地でそのままに。本物の冬を!
あなたもどうぞ。今年は菅江真澄とともに……。

菅江真澄 本名、白井秀雄。幼名、英二。知之(ともゆき)、白超とも名乗った。江戸時代後期の紀行家、博物学者。宝暦4年(1754年)三河国、現在の豊橋市か岡崎市付近の出身といわれる。

30歳で故郷を出発。信濃、越後、庄内、秋田、津軽、南部、仙台、蝦夷地などを巡り、土地の民俗、歴史、地理、国文学、詩歌、考古、宗教などを日記、地誌、隨筆、図絵集として記録。「菅江真澄遊覧記」と総称される。この中で自筆本89冊が、重要文化財に指定されている。初めて「ナマハゲ」を「男鹿の寒風」で言ってます。

秋田には48歳の時からおよそ29年間移り住み、現在の秋田県内をくまなく歩き、記された著作はその時代の民俗風習を知る上で、貴重な資料となっている。

文政12(1829)年、仙北で亡くなり、秋田市寺内に墓所がある。



菅江真澄「男鹿の寒風」より(秋田県立博物館蔵)

私も「大晦日・第4回

FAX・メール・TELを2015年12月10日頃メドに〆切でお知らせを。FAX 048-824-5626

月 日

男鹿のナマハゲ体験ツアー」に

参加します

お名前 _____

(①自分で手配

②新宿駅西口～秋田往復バス (アクセスはどちらかに○印を)

ご住所 _____

TEL・FAX・メールなど _____

(このツアー以外には使用いたしません。参加者は別途申込書、保険付明細案内図など送ります)

所属など _____

コースなど裏面参照